



家族に感謝、職場に感謝

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日12:30 例会場 名古屋東急ホテル  
会長 松本 哲朗 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号丸越ビル6F  
幹事 杉本 忠夫 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008  
URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org

インスピレーションになろう

<2018-19年度R.I.テーマ>  
R.I.会長 パリー・ラシン

第1707回例会

母子の健康月間  
平成31年4月11日(木)  
外部卓話  
於 名古屋東急ホテル  
会員 56名

出席計算数  
50名中43名出席  
出席率 86.0%  
前々回出席率 89.8%  
47.0%

例年プログラム

★R財団ポール・ハリス・フェロー表彰  
ハッシの進呈

★渡辺国際奉仕委員  
・地区補助金事業報告

★高木青少年奉仕委員長  
・次年度青少年交換について

★外部卓話

ロータリーソング

「奉仕の理想」

指揮者 春日井和良  
ピアノ伴奏 富坂 玲子

ゲスト

四条 暁 学園大学リハビリテーション  
学部作業療法学専攻  
教授 野口 裕美さん

「動物と元氣」なる会 会長

作業療法士 野下 朋美さん  
照井 菜さん

株式会社オリスボイースターション  
梶野 涼子さん

青少年奉仕委員会ゲスト

13・14年度受入青少年交換学生  
アクセル・レヒティネン

ピクチャー

名古屋東RC 鈴木 建吾さん

ニコボックス

野口裕美先生よろしくお願いま  
す。 松本 哲朗・杉本 忠夫  
横井 衛・田崎 雅三  
野口裕美先生、卓話よろしくお願  
いします。

春日井和良・丹下 富博

林 順治・竹林 正人

横川さん楽しいお話ありがとうございました。

ベストフレンドの名古屋東RC

鈴木建吾さんをお招きして。

吉田 隆彦

認知症テストを受けました。馬鹿

みたいな問題に答えられない自分

がががゆい!! 岡田 尚彦

車のエアコン20℃設定で、昨日は

暖房、今日は冷房。小澤 幸男

誕生日です。前田 隆久

息子が関西学院大学に入学しまし

た。アクセル君よろしく。

渡辺 観永

結婚記念月です。まだもっていま

す。 神野 邦利

丹下さんありがとうございます。

大上 晃延

会長挨拶

「敬老パス(2)」

以前の会長挨拶で、名古屋の敬  
老パスがいかに便利かお話ししま

松本 哲朗



したが、他の大都市がどうなっ  
ているか調べてみました。

まず東京都ですが、都バスを言

む30社ほどのバス会社で構成され

ている東京バス協会が、都の支援

のもと「シルバーパス」を発行し

ています。東京都交通局が運営す

る都電、都営地下鉄、日暮里ライナ

ーと都内のほとんどのバスに乗れ

ます。ただし路線が多い東京メト

ロは通常の料金がかかります。住

民税を払っている人は年間20、

510円で70歳以上が対象です。

続いて大阪市ですが、昨年4月

に大阪市交通局が民営化し、地下

鉄は大阪メトロ、市バスは大阪シ

ティバスとなりました。「敬老優待

乗車証」というICカードがあり

1乗車50円です。チャージして使

います。昨年まではこのカードが今

年間3,000円かかりましたが今

は無料です。こちらも70歳以上で

す。

その他の大きな都市も地下鉄の

路線が少なくまたほとんが70歳

以上から改めて名古屋市民によ

かったなと思います。

卓話

「動物の可能性」

「自己手段としての動物の介在」  
「知っていますか? 介助犬」

四条 暁 学園大学リハビリテーション  
学部作業療法学専攻  
教授 野口 裕美さん

学問へのきっかけ

私は動物が好きで、子どもの頃

から、家には犬や猫、ニワトリな

どさまざま動物がいました。当

時の夢は動物のお医者さんか、日

夜一つのことを研究し続ける学者

になることでした。大学では、医

療分野で活躍できる理学療法を学

びました。理学療法士としての道

を歩み始めましたが、心の片隅に

はいつも「動物のお医者さん」へ

の思いが消えませんでした。卒業

から8年後、母校の大学で「動物

介在療法を研究している作業療法

学科の教授がいる」と聞いて、再

び母校の門をたたき、作業療法を

学ぶことになりました。これがき

っかけとなり、動物介在療法や介

助犬に関わることになりました。



## 動物が人に与える効果

犬や猫などの動物が「人の健康」に良い影響を与えていることが報告されています。「動物介在療法」は、動物を介在させて治療する療法のことであり、介助犬は障がい者にとって生きていた助員としての役割を担っています。理学療法や作業療法的手段として動物が効果を発揮していることを是非、知ってほしいと思います。動物に興味がある人もない人にも、このあまり知られていない分野を少しでも知って頂ければと思います。

## 人と動物の関係

「ちょっと知っておいて下さい！」  
〜知識編〜  
〇医療現場での人と動物の関わり  
障がいのある人が、杖や車いす、補聴器などの器具を使って体の機



能を補うことは一般的に行われています。そんな補助の1つに、動物を介した方法があります。視覚障がい者には「盲導犬」、肢体不自由者には「介助犬」、聴覚障がい者には「聴導犬」といった手段があり、これらの犬たちは「身体障害者補助犬」と言われています。

一方で、医療現場では治療として動物を介在させる方法も行われています。「動物介在療法」と言います。医療現場で動物を介在させていく際には一般的なリハビリテーションの流れと同様に医師、リハビリテーション専門職である理学療法士や作業療法士、犬のトレーナーや動物のボランティアなどで編成されたチームでの取り組みが重要になります。

また、身体障害者補助犬という身体障害者の自立と社会参加促進のための法律も制定されています。しかし、認知度は法律の成立から17年が経った今も低いままです。盲導犬を知らない人はいませんが、介助犬や聴導犬を知っている人は30%程度、補助犬法の名称も内容も知っている人とすると数%という調査結果もあります。

## 〇介助犬の効果

例えば、体の片側が麻痺した人が歩く時には、片側に寄ってしまうなど、歩行に支障が出ます。これを補うために、通常は杖や歩行



器など自助具と呼ばれる福祉機器を利用してバランスを取ります。こうした自助具の代わりに、介助犬を利用する方法では、訓練を繰り返す中で犬が利用者の微妙なニュアンスを覚えて、絶妙なところで推進力やブレーキを与え、スムーズな歩行を実現させてくれます。ロボットも進化していますが、介助犬にはロボットや器具では成し得ないことを実現できる可能性があり「生きた自助具」とも言われています。

医療現場では介助犬の効果によって、障がいのある人が「次なる一歩」を踏み出すことが期待されています。

## 〇医療の現場

### 介助犬という選択肢を

介助犬は杖や歩行器などと同様に、自助具の1つであり、人を身体的に介助できるということを、1人でも多くの方が知ることが重要です。そして、リハビリの中で「介助犬という選択肢」があることを当事者自身も知っておくことが期待されています。

そのためには、生きていた自助具として「犬はどんなことができるか、どんな特性があるのか?」「ロボットとの違いは何か?」などの比較研

究も必要です。また、犬は生き物なので関係性を築く時間が必要であり、すぐ思ったように動いてくれるわけではありません。しかし、介助犬を使用している障がい者からは「介助犬が行った動作は自分が行っているように感じる」という声も聞かれます。このような介助犬が人に与える効果を科学的に証明しようと、現在では三次元動作分析装置を使用した身体的な効果や、インタビュールなどを通じた精神的な効果の研究が進められています。

## 〇社会での補助犬の

### スムーズな受け入れを

障害者が補助犬同伴で初めての施設を利用する際には、法律があるにも関わらず、まだまだ、補助犬法の説明や交渉が必要になります。同伴を拒否されても「法律で、補助犬の受入が義務化されていること」を説明して受け入れられれば良いのですが、いくら説明しても同伴を拒否されることもあります。これでは、障がい者が補助犬との外出を躊躇しかねず、障害者の社会参加を支援するための補助犬が、社会参加を妨げる原因となってしまう。同伴拒否を解消するため、厚生労働省や補助犬関連団体などでは、ウェブサイトでの広報だけでなく、啓発イベントの開催、啓発用リーフレット・シ

ール作成・配付を行っており、政府インターネットテレビには、啓発ビデオの動画も公開されています。参考にして頂ければと思います。補助犬の同伴拒否をなくすためには、すべての世代、色んな業界の皆さんに補助犬を正しく理解していただく必要があると考えております。今回、講演の機会を頂き、一人でも多くの方々に補助犬と共に社会参加を試みている障がい者の存在について知って頂き、ご理解を頂く機会になる事を願っております。



※毎日新聞大阪社会事業団・シンシア基金の助成で制作した補助犬シールや24時間テレビチャリティー委員会で制作した補助犬啓発DVDのライブラリーは、日本補助犬情報センターのHdLから<https://www.jsdrc.jp/>から請求できます。是非ご利用ください。DVDの動画を視聴するにもご利用ください。

【ロータリー財団PRDF表彰

・バツシの進呈

- ・ポール・ハリス・フエロー  
(1回目) 大上 晃延
- ・ポール・ハリス・フエロー  
(2回目) 齋藤 正将
- ・ポール・ハリス・フエロー  
(3回目) 尾上 昇



【地区補助金事業報告

- 「ミャンマー国マンダレー市域の内戦孤児院への設備支援」  
国際奉仕委員長 渡辺 観永



平成31年3月19日に、ミャンマー国マンダレー管区シユエグ二孤児院において、100名の児童が一堂に会食できる食堂建設、金属製の水タンク設置、虫歯予防指導、スポーツなど遊具支援、食事支援を実施しました。

当クラブからは、松本哲朗会長、杉本忠夫幹事以下5名の会員と5名の家族が現地入りし、元米山樂学生サンダーモーさん(川西RC)をはじめ4名のミャンマー人米山学友の協力のもと活動しました。

ミャンマーでは、イギリスからの独立以降、70年に渡って内戦が続いており、民主化が進むなどなお和平交渉が決裂し、軍事政権と反政府勢力との間で武力紛争が収束していません。当クラブの目的としては、この内戦による孤児の生活改善支援はもちろん、反政府勢力からの孤児を受け入れるシユエグ二孤児院に対してミャンマー国民の認識が少しでも拡大するよう、支援の口火を切ることにしました。

半年以上に渡る日本からの支援活動は、現地でも話題を呼び、ミャンマーで有名な女優



の他、多くの支援者が集まり、想定以上の支援物資が集まることになりました。

内戦で親を失った子ども達の成長や学習の一助になり、ここから大きな平和が生まれることを願ってやみません。子ども達の笑顔につつまれた良き日となりました。

【その他・お知らせ

国際ロータリー・ニュース

「水と衛生への新たなアプローチ」  
人びとが安全な水を持続的に利用できるようにするために、ロータリーが新たな方法で挑む

2019年3月19日

安全な水、衛生施設や衛生リソースの不足は、世界で最も大きな保健問題の一つです。これはまた解決が最も難しい問題でもあります。ロータリーはこれまで何十年にもわたりの、井戸を掘り、配管工事を行い、浄水設備を整え、流し台や

トイレを設置するなどして、人びとが安全な水を利用できるよう支援してきました。しかし最大の課題は、このような設備が整えられた後にあります。それは、はじめにプロジェクトが成功してもゆくゆくは失敗に終わるケースが頻繁にあるからです。

「ンサルティンク会社」(Narsal International)社が集めたデータによると、サハラ以南のアフリカだけでも、機能不全となった水道システムに関連する費用の累計額は、さまざまな団体を合わせて12億~15億ドルに上ると推定されています。アフリカ、南米、南アジアの一部では、まるで持続不可能となった奉仕プロジェクトの証とでもいうように、錆びた給水ポンプや老朽化した衛生施設があちこちに見られます。独立して調査を行った「Aquaconsult」社によると2013年の報告では、ロータリーが実施したプロジェクトでこのような問題が取り上げられました。また、より効果的なプロジェクトを計画する上での持続可能性の重要性にも触れられています。

ロータリーがここ数年活動の焦点を教育協力、持続可能性に転換したのもこれが一つの理由となっています。



R財団のグローバル補助金「ロータリアン行動グループ」、米国際開発庁(USAID)とのパートナーシップによって、ロータリーの水と衛生プログラムであるWASHプログラムは、より効果的で持続的な変化をもたらしています。「ロータリーの水と衛生プロジェクトはどれも、思いやりと善意で実施されていますが、その多くが地域社会の実際のニーズに添えていかなかったのです」と語るのは、「水と衛生のためのロータリアン行動グループ」の創設者で名誉会長のF.ロナルド・テンハムさんです。2007年に結成された同グループは、ニーズと持続可能性を重視しています。

過去には、設備や施設が適切に設置され、人びとからも良い反応がありました。地元住民の当事者意識、教育、持続可能性が欠けていたことがありました。また多くの場合、地域社会が自立して長期的にプロジェクトを管理するのに十分な支援がありませんでした。持続可能性の障壁の一つは、人的支援への継続的なニーズです。ロータリー会員は、もともとボランティアです。「誰もが同じように、ロータリアンにも仕事や家族という優先があります」とテンハムさん。デンハムさんはこれまで30年以上、クラブと協力して水と衛生の問題に取り組み、エチオピア、ガーナ、インド、ケニア、ウガンダでプロジェクトを指揮してきました。

また、地元の改善に取り組むロータリー会員について次のように話しています。「プロジェクト実施地側のクラブにとって、例えば、長期間WASHプロジェクトを管理するのは大変です。これは、複雑な技術的要素が必要とされることに特に当てはまります。「私たちは力を尽くしていますが、援助を必要としています。成功には、外部に支援を求めることが不可欠です」

**地域社会のかわりと当事者意識**  
 今日、プロジェクト成功の力には、補助的なリソース、資金、技術、人脈、文化に関する知識といった専門知識を提供する団体との協力にかかっています。

「クラブは、地域社会でそのリーダーや専門団体と密着して活動する必要がある」とニアンハムさん。「またさらに重要なのは、地域社会のニーズを理解することです。地域社会に何が必要なのかを憶測で判断してはなりません」

R財団は長年の活動を通じて、長期的な変化をもたらすには地域社会の関わりが極めて重要であることを学びました。現在、他国で実施する一部のプロジェクトでは補助金を申請するクラブに対し、プロジェクトの計画に地元住民が関わったことを証明することを義務づけています。

取り組み課題を選び、地元で利用可能なリソースや解決策を判断し、長期的な管理計画を作成する

には、地域社会の参加が必要とされます。

いずれ地域社会の人びとが自力で継続していけなければ、そのプロジェクトは成功したとは言えない、とニアンハムさんは話します。

2010年、ニアンハムさんの所属クラブ、トロント・エグリントン・ロータリークラブ（カナダ、オンタリオ州）は、安全な水が不足するケニアの大地溝帯での水と衛生プログラムの主要な援助国側パートナーとなりました。

計画段階における地下水の試験で高いレベルのフッ化物が計測されると、援助国のクラブは計画を変更し、浅い掘削孔を掘ることにしました。これまでの経験から、雨水を貯水する方がより安全な方法だとわかったからです。

実施国側のクラブ、ナクル・ロータリークラブ（ケニア）は現在、各家庭で1万リットルの貯水タンクを設置するための資材を提供し、その設置方法を教えています。その作業と管理を行うのは各家庭です。50ドルの投資で、家族が乾季を乗り切るのに十分な水を貯めることが可能となります。

現在までに、このプロジェクトを通じて3千基以上の貯水タンクの設置に資金が提供され、およそ28000人が安全な水を利用できるようになりました。これまでは、家族の誰か（その多くは女性や子供）が水をくむために1日に何キロも歩かなければなりません

でしたが、もつその必要はありません。

貯水タンクを所有した女性たちは、新しい家庭の姿を思い描けるようになりました。また、ロータリークラブを通じて利用している小口融資のおかげで、母親たちは水くみではなく、小事業を営み、収入を得られるようになりました。「貯水タンクは、母親だけでなく子供たちにも自由をもたらしました。今では、子供たちは学校に行く時間の余裕ができました」とニアンハムさんは説明します。

執筆: Ryan Hyland  
 Rotary International  
 国際ロータリーHaより  
 (続きは次号以降に掲載します。)

**4月25日(木)例会の案内**

- 地区研修・協議会報告
- 次年度クラブ奉仕委員長 杉本 忠夫
- 次年度社会奉仕委員長 渡辺 観永
- 次年度職業奉仕委員長 春日井和良
- 次年度国際奉仕委員長 堀江 英弥
- 次年度青少年奉仕委員長 大上 晃延
- 事務局GW休暇
- 4月27日(土)～5月6日(月)ガハナー事務所・ガハナーエレクト事務所・ガハナー事務所分室 名古屋大須RC事務局

平成31年3月26日(火)  
 於 名四カントリークラブ

**第177回ゴルフ例会**



<優勝> 吉田 隆彦  
 思いがけない優勝に大変喜んでおります。ありがとうございました。

<準優勝> 荻柴 賢二

<ベストスコ> 荻柴 賢二

<ニアピン>

- No.2 春日井和良
- No.8 荻柴 賢二
- No.13 吉田 憲一
- No.16 横井 衛

<ドラコン> 吉田 憲一 中原 康雄



		OUT	IN	GROSS	HDCP	NET	次回
優勝	吉田隆彦	45	42	87	18	69	14
2位	荻柴賢二	42	45	87	13	74	11
3位	杉本忠夫	45	47	92	18	74	17
BB	酒井 修	55	53	108	24	84	-

5月2日(木)例会の案内  
 定款規定により休会(法定休日)  
 5月9日(木)例会の案内  
 SPEAK OUT DAY

公共イメージ向上委員会  
 前田 隆久・杉浦 令淑  
 川畑 博敬・竹林 正人  
 \*本文は、原則 頂いた原稿を転載しています。